## HERD SUPPORT Information for ASHORO

# あしょろ・ハードサポート通信

ようやく春めいてきました。日が長くなり、あたたかく、牛たちにもわたしたちにも 心地よいシーズンです。今年もそろそろ肥料や堆肥散布が始まります。

## ◆ 足寄町の酪農



足寄町酪農は放牧が有名で、放牧時間の長い/短いはあるものの、町内の半分以上の 酪農場は、春夏は放牧地に牛を出す飼養体系をとっています。ですが、通年舎飼いの経 営もたくさんあり、大きく分けると放牧主体、一部放牧+施設型、施設型で、サイズも 小規模から中~大規模家族経営、大規模法人経営とバラエティに富んでいます。

今月号では、今年3月時点での全道、十勝、足寄の乳検成績をまとめてみました。

#### ◆ 頭数、めす子牛出生率、搾乳日数と乳生産

牛群構成. (2019年3月·年平均)

項目	全道 平均	十勝 平均	足寄 平均	目標値
経産牛頭数	81.7頭	107.2頭	63.9頭	
搾乳牛頭数	71.2頭	94.1頭	55.8頭	
雌子牛出生率	52%	50%	43%	50%前後
搾乳日数	194日	196日	200日	160-180日
乳量	30.4kg	32.0kg	28.2kg	
体細胞	206千	201千	254千	200千以下
リニアスコア	2.5	2.5	2.7	3以下

- ・「経産牛頭数」から、足寄では 土地条件と労働力に見合った 堅実な家族経営を守っている 様子がうかがわれます。
- ・足寄は F1 生産割合が高く、 後継牛が少ない傾向ですが、それ が「雌子牛出生率」に表れていま した。ただ、18-19 年にかけて、

町内の育成牛頭数が 400 頭ほど増えたそうです。今後の推移を見ていきたいです。

- ・搾乳日数は全道的に延長傾向です。牛群に泌乳後期牛の割合が多いと搾乳日数が長くなり、生産効率が下がります。繁殖サイクルの改善で目標値 160-180 日をキープでき、より効率よい乳生産が実現できますので、すべての酪農場に目指して欲しい数値です。
- ・体細胞平均、リニアスコアは、足寄は全道・十勝に比べて高い傾向です。

#### ◆ 繁殖成績

繁殖成績 (2019年3月検定・年平均)					
項目	全道 平均	十勝 平均	足寄 平均	目標値	
授精回数	2.3回	2.3回	2.4回		
初回授精受胎率	31%	32%	31%	40%以上	
初回授精開始	87日	88日	84日	65-85日	
肉牛交配率	19%	19%	25%		
空胎日数	150日	151日	154日	100-140日	
乾乳日数	62∃	61日	62日	50-60日	
分娩間隔	426 ⊟	427日	429日	380-420日	
分娩間隔予定	431日	431日	437日	380-420日	

- ・授精回数、初回授精受胎率、初回授精開始日平均、分娩間隔など、繁殖成績に関する項目では、 道内で大きな差はありませんでした。
- ・肉牛交配率は、前述の通り、他 地区より高い傾向です。

## ◆ 初産割合、平均産次、淘汰時産次



- ・ここでは、足寄の酪農の大きな 特徴が浮かび上がりました。
- ・足寄の平均産次は 2.8 産で他 エリアより高く、淘汰時産次は 3.9 産、年齢は 6 歳 5 カ月で、全 道、十勝に比べ、牛が長持ちして いることが見えました。

放牧を取り入れ、乳量ほどほどで牛を長持ちさせたい、という方針の経営が多いのが 足寄酪農の特徴の一つです。牛が長持ちするので後継牛が少なくてすむという良い回転 にもつながります。ただし事故が多く、後継牛頭数が不充分で、淘汰したい牛を淘汰で きず、結果的に平均産次が高くなってしまった、という場合もあるので注意も必要です。

どのような経営スタイルであれ、牛が健康に長持ちするのは素晴らしいです。併せて、 乳質や繁殖成績などの課題をクリアしていけたら、より効率よく、作業性よく経営を 進めていくことができます。乳検には自分の酪農場の「いいところ」、「悪いところ」が 表れています。毎月の乳検結果、ぜひじっくり眺めてみてください。 (久富聡子)

- ・今年度も、酪農女性勉強会を年間5回(5、7、9、11、1月)開催します。日程・ 内容が決まり次第ご案内しますので、どうぞご参加ください。
- ・新しい取り組みとして、若手経営者・後継者(40歳未満の男女)を対象にした年間 5回の勉強会を計画しています。基本的な技術から経営に関する知識を学ぶ場、参加 者の交流を図る場として、多くの方に集まっていただきたいです。

第1回は5月22日(水)11時~13時、JA本所2階会議室で開催します!